



(1) 隧道平面圖及び縦斷面圖  
 斷面圖中(A)(D)は換氣機械陸上設備用建築物にして、(B)(C)は同河上建築物である。平面圖の上方は北側隧道にして、下方にあるは南側隧道である。

## 河底を鑿つ自働車道トンネル

### ホーランド、トンネル工事

日本の關門海底トンネル工事が世界の工事界に注目されてをる時、ハドソン川の河底トンネル工事が最近大々的設備の下に完成しつつある、關門のは鐵道トンネルであるからハドソン河の自働車トンネルに比し設備も簡單なものであらう、本稿は本工事主任技師の第二回レポートに依る。(編者)

#### 大都市の交通問題

河川を有せざる都市は文明的大都市としての資格を具備しないものである。都市を貫通する河川を通行する大小船舶に依りて與へらるる交通上の無限の便宜は、河川を有せざる都市の發達が實に遅々として居る様を見ても容易に是を了解する事が出来るであらう。隅田を有する東京、テムス河を有する「ロンドン」、「セーヌ」を有する巴里あれば「ハドソン」を有する大紐育がある。「ハドソン」を挟みて對立する二市は即ち紐育に「ニュー、ジャージー」市である。金と時間の使途に困つて居る米人に取つて彼等の日常生活

に不便を感じる言ふ事は彼等の軽い自負信世界一を傷つけるものである。

世界の市場紐育は隣接する「ニュー、ジャージー」市をも又目の廻る様な多忙の町にして置かないでは居ない。此の兩市の間を往復する人間、荷物の數量は年ごとに否な秒を刻む毎に増加しつつあるので、到底、人間を運ぶには地下鐵道、貨物の運搬には Ferry-Boat のみを以てしては毎日の生活が圓滑に立ち行かなくなつて仕舞つた。

紐育に「ニュー、ジャージー」を連絡する往復二本の大隧道を「ハドソン河」の河底を潜つて造り出したのは今から四年程前の事であつた。